

# お家まるごと空気清浄機



昨年から、新型コロナウイルスの蔓延防止のため換気の重要さが報道されるようになりました。

昔から、石油ストーブを使うと室内の酸素が減少し一酸化炭素中毒になる恐れがあることから「こまめに窓を開けて換気をしましょう。」また、インフルエンザが流行っている期間も同様なことは言われていましたよね。でも、空気は目に見えないということもあり、今までそれほど注意してこなかったのではないのでしょうか？

けれど新型コロナウイルスは、治療薬がないため感染すると重症化して死に至ってしまうこともあるので真剣に取り組まざるを得なくなりました。そこで、人が集まるところは、窓を開けておいたり空気清浄機を設置するようになったのではないかと思います。

でも「冬に窓を開けておくのは寒い」とか「この家に空気清浄機は幾つ必要なの？」「家じゅう換気できたらいいのに」など思いませんか？



## 『チャコの家』は、そんな心配は必要ありません

『チャコの家』は、24時間換気装置を標準装備しているので、コロナ禍からではなく、一年中、2時間に1回、家じゅうの空気の入替をしています。

第三種換気システム\* を使い計画換気をしているので夏のエアコンの冷気や冬の暖房熱も逃がさず換気しています。

一年中、お家まるごと換気してくれているなんてこんな安心できる住環境はないでしょう。

また、家庭内で誰かがコロナウイルスやインフルエンザなどに感染した場合でも別室に隔離し陰圧状態にして他の家族にできるだけ感染が広がらないようにできます。

このようにいま、本当に『チャコの家』が必要とされる時が来ました。



### エネルギーロス

低気密



隙間が多いのでドンドン逃げる

高気密



隙間が少ないので無駄に逃げない

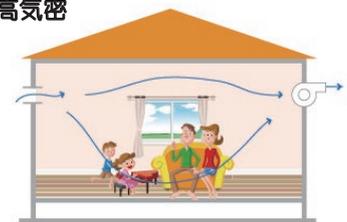
### 計画換気

低気密



隙間が多いので室内外の空気の出入りを把握することもコントロールすることもできない

高気密



隙間が少ないので室内外の空気の出入りをコントロールできる

### \* 第三種換気システムとは..

排気を機械ファンで強制的に行い給気は自然換気で行う方法で、気密性が高くないとできません。排気口は住宅の大きさや家族数による二酸化炭素濃度や排気量を計算し設置、給気口も排気口に対して正しく設置します。換気設備の電気代は月に約300円と経済的です。

最近、外見の豪華さではなく性能と換気を一番に考えた家に関心が高くなっています。それで高気密高断熱住宅を謳う家も珍しくなくなっていますが、きちんと気密測定を行い計算された換気システムを導入されていますか？高気密高断熱住宅なのに冬は寒かったり結露したりしていませんか？

私たちスタッフは、快適に住める家として快適な温度の維持、常時新鮮な空気が吸える家＝高気密高断熱住宅を勉強してきました。

その時が来たら、私たちスタッフにご相談ください。一軒一軒お客様に合わせた快適で安全安心なお家のご提案をさせていただきます。

- ☆高気密高断熱住宅を手掛けて30年の実績。
- ☆弊社は気密測定技能者登録をしています。
- ☆設計士は全員、気密測定士の資格を持っています。